

設問一覧【介護サービス事業所調査】			
問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
I	共通設問		
■	貴事業所の運営状況について		
問1	貴事業所の所在地はどこにありますか。板橋区の日常生活圏域でお答えください。（P.19 日常生活圏域一覧 参照）	1	板橋地域
		2	熊野地域
		3	仲宿地域
		4	仲町地域
		5	富士見地域
		6	大谷口地域
		7	常盤台地域
		8	清水地域
		9	志村坂上地域
		10	中台地域
		11	蓮根地域
		12	舟渡地域
		13	前野地域
		14	桜川地域
		15	下赤塚地域
		16	成増地域
		17	徳丸地域
		18	高島平地域
問2	「みつかる板橋 医療・介護・障がい・通いの場情報MAPシステム」をご存知ですか。また、知っている場合、「みつかる板橋 医療・介護・障がい・通いの場情報MAPシステム」の関係者向けサイト「ケア倶楽部」を活用していますか。	1	知っていて、活用している
		2	知っているが、活用していない
		3	知らない
		4	その他（ ）
問3	問2で「2. 知っているが活用していない」と回答した方にお尋ねします。活用しない理由を教えてください。	1	ID/パスワードが不明なため
		2	使い方が不明なため
		3	その他（ ）
問4	貴事業所の経営主体・法人の種類をお答えください。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	企業（株式会社・有限会社等）
		2	社会福祉法人
		3	医療法人
		4	NPO法人
		5	その他（具体的に ）
問5	この調査票をお送りした封筒の宛名に記載してある、貴事業所の事業種別番号をお答えください。	1	事業種別番号（ ）
問6	貴事業所に併設されている介護サービス等をお答えください。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	居宅介護支援
		2	訪問介護
		3	訪問入浴介護
		4	訪問看護
		5	訪問リハビリテーション
		6	居宅療養管理指導
		7	福祉用具貸与・販売
		8	通所介護
		9	通所リハビリテーション
		10	短期入所生活介護
		11	短期入所療養介護
		12	特定施設入居者生活介護
		13	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
		14	夜間対応型訪問介護
		15	地域密着型通所介護
		16	認知症対応型通所介護
		17	小規模多機能型居宅介護
		18	看護小規模多機能型居宅介護
		19	認知症対応型共同生活介護
		20	地域密着型特定施設入居者生活介護
		21	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
		22	介護老人福祉施設
		23	介護老人保健施設
		24	介護医療院
		25	地域包括支援センター
		26	病院/歯科診療所
		27	診療所（有床・無床）
		28	施術所
		29	併設事業はない
		30	その他の高齢福祉サービス（具体的に ）
●	貴事業所の過去3年間の事業の採算について教えてください。（各年度、ひとつだけ口にチェックをつける）		
問7	4 年度	1	黒字
		2	損益なし
		3	赤字
		4	その他（具体的に ）
問8	5 年度	1	黒字
		2	損益なし
		3	赤字
		4	その他（具体的に ）
問9	6 年度	1	黒字
		2	損益なし
		3	赤字
		4	その他（具体的に ）
問10	昨年と比べて、貴事業所の経営状態はどうですか。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	良くなっている
		2	変わらない
		3	悪くなっている
		4	その他（具体的に ）

問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
問11	貴事業所の運営に関する課題はどのようなことですか（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	利用者の確保が困難
		2	人材の確保が困難
		3	従業員の育成
		4	従業員の福利厚生
		5	人件費の負担が大きい
		6	介護報酬請求事務の負担が大きい
		7	介護報酬が低い
		8	運営・運転資金の確保が困難
		9	事務所の確保や維持が困難
		10	他事業所との競争が激しい
		11	事業内容が理解されていない
		12	利用者やその家族への対応
		13	その他（具体的に）
		14	特になし
■	人材の状況について		
●	貴事業所に所属する介護職員について、お伺いします。 ※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）		
問12	介護職員の総数をお答えください。（令和7年11月1日時点）		（ ）人
問13	問12のうち常勤職員の人数（数値を記入）		（ ）人
問14	問12のうち非常勤職員の人数（数値を記入）		（ ）人
問15	問12のうち外国人職員の人数（数値を記入）		（ ）人
問16	問12のうち派遣職員の人数（数値を記入）		（ ）人
●	過去1年間（6年11月1日～7年10月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。		
問17	常勤職員の採用者数		（ ）人
問18	常勤職員の離職者数		（ ）人
問19	非常勤職員職員の採用者数		（ ）人
問20	非常勤職員の離職者数		（ ）人
問21	採用者数の総数		（ ）人
問22	離職者の総数		（ ）人
●	直近3年間の離職状況（定年退職は含まない）についてお答えください。※従業員総数は常勤、非常勤を含めた各年度4月1日時点の人数（実数）をご記入ください。※また、各年度の離職者数と離職者のうち採用後6か月以内に離職した内数もお答えください。		
問23	【4年度】従業員総数(常勤・非常勤・離職者含む)		（ ）人
問24	離職者数（年間）		（ ）人
問25	離職者のうち6か月以内の離職者数		（ ）人
問26	【5年度】従業員総数(常勤・非常勤・離職者含む)		（ ）人
問27	離職者数（年間）		（ ）人
問28	離職者のうち6か月以内の離職者数		（ ）人
問29	【6年度】従業員総数(常勤・非常勤・離職者含む)		（ ）人
問30	離職者数（年間）		（ ）人
問31	離職者のうち6か月以内の離職者数		（ ）人
問32	貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む、ボランティアの方を除く）について、お答えください。		【別紙1】への記入により回答
問33	過去1年間（6年11月1日～7年10月31日）の介護職員の離職者の勤続年数をお答えください。	1	1年未満
		2	1年以上～3年未満
		3	3年以上～5年未満
		4	5年以上～10年未満
		5	10年以上～15年未満
		6	15年以上～20年
		7	20年以上～
問34	過去1年間（6年11月1日～7年10月31日）の介護職員の離職者の年齢層をお答えください。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	20歳未満
		2	20歳以上～30歳未満
		3	30歳以上～40歳未満
		4	40歳以上～50歳未満
		5	50歳以上～60歳未満
		6	60歳以上
		7	離職者はいない
問35	問34で「1」～「6」のいずれかに回答した方にお尋ねします。それぞれの年齢層における離職者数をお答えください。		
	20歳未満		（ ）人
	20歳～30歳未満		（ ）人
	30歳～40歳未満		（ ）人
	40歳～50歳未満		（ ）人
	50歳～60歳未満		（ ）人
	60歳以上		（ ）人
●	貴事務所の従業員充足度についてお答えください。（それぞれひとつだけ口にチェックをつける）		
問36	正規職員	1	充足している
		2	概ね充足している
		3	過不足なく適当な状態である
		4	あまり充足していない
		5	充足していない
問37	非常勤職員・パート	1	充足している
		2	概ね充足している
		3	過不足なく適当な状態である
		4	あまり充足していない
		5	充足していない
問38	問36、問37で「4.あまり充足していない」、「5.充足していない」の口にチェックを付けた方にお尋ねします。充足していない理由は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	採用が困難（理由：）
		2	離職率が高い（定着率が悪い）
		3	事業拡大によって必要人員が増大した
		4	その他（具体的に）
問39	離職した方の退職理由はどのようなことですか。把握されている範囲でお答えください。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	健康上の問題（身体、精神の不調）
		2	家族の介護のため
		3	介護以外の家庭の状況（結婚・出産・配偶者の転勤など）
		4	職場の人間関係
		5	勤務時間への不満
		6	賃金への不満
		7	その他（）
		8	理由は分からない

問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
●	貴事業所の従業員の離職防止・定着支援や人材の確保対策についてお尋ねします。（それぞれ、あてはまるものすべての口にチェックをつける）		
問40	従業員の離職防止・定着支援のためにどのような方策をとっていますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	労働時間（時間帯・総労働時間）の希望に柔軟に対応
		2	有給休暇の取得を奨励
		3	育児・介護など休暇制度の活用を奨励
		4	キャリアに応じた給与体系の整備
		5	能力や働きぶりを評価し、配置や処遇に反映
		6	福利厚生の実や職場内の交流促進
		7	研修制度の実（事業所内）
		8	研修制度の実（複数事業者での合同研修）
		9	研修制度の実（自治体や業界団体主催研修への参加）
		10	資格取得支援・費用補助
		11	業務の分業化
		12	住居手当の支給
		13	職員に対する相談機会の提供
		14	その他（具体的に ）
		15	特に取り組んでいることはない
問41	新規人材の確保に向けて、取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	無資格者の採用・資格取得支援
		2	高齢者の積極的な採用
		3	定期的な求人
		4	ボランティアの受け入れ
		5	インターンシップの受け入れ
		6	外国人材の活用
		7	給与体系の見直し
		8	住居手当の支給
		9	その他（具体的に ）
		10	特に取り組んでいることはない
問42	人材不足により、新規の利用者の受け入れを断ったことがありますか。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	かなりある
		2	いくらかある
		3	あまりない
		4	ない
問43	貴事業所の外国人材の活用状況についてお尋ねします。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	既に活用している
		2	今後、活用予定である
		3	活用に向けて検討中である
		4	関心はあるが、具体的な検討はしてない
		5	活用の予定はない
		6	わからない
		7	受け入れ対象のサービス（施設）ではない
問44	貴事業所のICT機器や介護ロボットの導入状況についてお尋ねします。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	既に導入済みである
		2	今後、導入予定である
		3	導入に向けて検討中である
		4	関心はあるが、具体的な検討はしていない
		5	導入の予定はない
		6	わからない
問45	（問44で「1」にチェックを付けた方にお尋ねします。）導入している技術は何ですか。（あてはまるものすべての口にチェックをつけてください。）	1	介護記録作成等業務支援システム
		2	介護報酬請求システム
		3	タブレット端末
		4	通信機器（インカム）
		5	見守りセンサー（カメラシステム）
		6	バイタル測定・健康管理システム
		7	移乗支援ロボット
		8	移動支援ロボット
		9	排泄支援システム
		10	コミュニケーションロボット
		11	入浴支援ロボット
		12	介護業務支援ロボット
		12	リハビリテーション支援機器
		13	服薬支援システム
		14	AI音声認識・自動文字起こしシステム
		15	オンライン面会・沿革相談システム
		16	勤怠管理システム
		17	清掃消毒ロボット
		18	その他（ ）
問46	（問44で「2」にチェックを付けた方にお尋ねします。）導入予定の技術は何ですか。（あてはまるものすべての口にチェックをつけてください。）	1	介護記録作成等業務支援システム
		2	介護報酬請求システム
		3	タブレット端末
		4	通信機器（インカム）
		5	見守りセンサー（カメラシステム）
		6	バイタル測定・健康管理システム
		7	移乗支援ロボット
		8	移動支援ロボット
		9	排泄支援システム
		10	コミュニケーションロボット
		11	入浴支援ロボット
		12	介護業務支援ロボット
		12	リハビリテーション支援機器
		13	服薬支援システム
		14	AI音声認識・自動文字起こしシステム
		15	オンライン面会・沿革相談システム
		16	勤怠管理システム
		17	清掃消毒ロボット
		18	その他（ ）
問47	新規の介護人材を確保することは困難だと感じていますか。	1	そう思う
		2	どちらかといえばそう思う
		3	どちらかといえばそう思わない
		4	そう思わない
		5	どちらともいえない

問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
問58	(問56で「1～3」の口にチェックを付けた事業所(研修を実施・参加した事業所)にお尋ねします。)実施や参加をした研修内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべての口にチェックをつける)	1	介護保険制度全般・制度改正
		2	運営基準
		3	ケアプラン
		4	介護専門技術の向上に関すること
		5	医療知識に関すること
		6	認知症に関すること
		7	利用者に対する接遇・マナー
		8	相談・苦情対応について
		9	事故防止・リスクマネジメント
		10	権利擁護・高齢者虐待防止
		11	個人情報保護
		12	その他(具体的に)
問59	貴事業所ではどのような苦情対応体制をとっていますか。(あてはまるものすべての口にチェックをつける)	1	苦情解決責任者を配置している
		2	苦情相談窓口を設置している
		3	第三者委員会を設置している
		4	必要に応じて、国民健康保険団体連合会に相談している
		5	必要に応じて、東京都社会福祉協議会の福祉サービス運営適正化委員会に相談している
		6	必要に応じて、保険者である区に相談している
		7	必要に応じて、地域包括支援センターに相談している
		8	その他(具体的に)
		9	特に対応していない
問60	令和6年度中に利用者から寄せられた苦情はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)	1	制度やサービスに関する説明不足
		2	ケアプランに関するもの
		3	サービスの質・内容に関するもの
		4	利用手続きに関するもの
		5	職員の態度に関するもの
		6	施設・設備に関するもの
		7	利用者負担に関するもの
		8	サービス提供が困難になるような過大な要求
		9	その他()
		10	苦情は特にない
問61	貴事務所ではどのような災害対策をとっていますか。(あてはまるものすべての口にチェックをつける)	1	災害対策マニュアル等の作成
		2	災害時の備蓄対策
		3	施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)の実施
		4	防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)との連携
		5	その他(具体的に)
		6	特に何もしていない
問62	虐待防止に向けてどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべての口にチェックをつける)	1	相談窓口の充実
		2	介護者のレスパイト(息抜き)サービスの充実
		3	地域の声のかけ合い
		4	介護サービスの提供拡大
		5	介護サービス提供者等による早期発見
		6	統一的な対応マニュアルの作成
		7	その他(具体的に)
問63	貴事務所では虐待・身体拘束防止に向けての取り組みをしていますか。(あてはまるものすべての口にチェックをつける)	1	都道府県や団体等が実施している研修に参加
		2	事業所内で勉強会を開催
		3	利用者の環境面での改善取り組み
		4	高齢者虐待防止や身体拘束防止のためのマニュアル等の作成
		5	事件・事故などの事例収集・分析等
		6	虐待防止委員会の設置
		7	その他(具体的に)
		8	特になし
問64	認知症高齢者に対して、今後区が施策を実施する際、より重要だと考えるのはどのようなことですか。(あてはまるもの3つまで口にチェックをつける)	1	早期発見・早期診療の仕組みづくり
		2	講演会や予防教室等による正しい知識の普及啓発
		3	家族の交流会や家族相談会などの支援
		4	家族向け研修会の開催(認知症の介護・コミュニケーション方法など)
		5	徘徊高齢者搜索情報ネットワークの充実
		6	認知症サポーターの養成
		7	学校教育や地域での住民啓発
		8	成年後見制度や虐待防止対策等の充実
		9	かかりつけ医との連携に対する支援
		10	介護従事者に対する研修
		11	認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
		12	社会参加を促すこと(シルバー人材センター登録・ボランティア等)
		13	その他(具体的に)
問65	介護保険事業や高齢者施策についてご意見・ご要望がありましたらお書きください。		自由記述

問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
■	選択設問 1 【居宅介護支援事業所／ケアマネジャー】		
●	貴事業所の介護支援専門員、主任介護支援専門員の方の人数（実数）とケアマネジャー業務への従事年数をお答えください。※転職などをされている場合は、分かる範囲で前職も含めた経験年数でお答えください。		
問66	貴事業所において、特に人材の確保が難しい職種・有資格者は次のうちどれですか。（あてはまるもの2つまで口にチェックをつける）	1	施設責任者（管理者）
		2	主任介護支援専門員
		3	介護支援専門員
		4	事務職員
		5	その他（具体的に ）
問67	令和7年10月中に、1人以上のケアプランを作成されたケアマネジャーの人数は何人ですか。		（ ）人
問68	令和7年10月中にケアプランを作成した事業所全体の利用者数は何人ですか。		（ ）人
問69	問68でお答えいただいた利用者数の要介護度別人数をお答えください。		
	要支援1・2		（ ）人
	要介護1		（ ）人
	要介護2		（ ）人
	要介護3		（ ）人
	要介護4		（ ）人
	要介護5		（ ）人
問70	問68でお答えいただいた利用者数のうち、今の在宅生活の継続が難しいと思われる利用者数は何人ですか。		【別表2】への記入により回答
問71	令和7年10月の利用者のうち、「サービス付き高齢者向け住宅」・「住宅型有料老人ホーム」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数は何人ですか。		（ ）人
問72	問70でお答えいただいた利用者数のうち、「サービス付き高齢者向け住宅」・「住宅型有料老人ホーム」・「軽費老人ホーム」にお住まいの方の内訳をお答えください。		
	サービス付き高齢者向け住宅の利用者数		（ ）人
	住宅型有料老人ホームの利用者数		（ ）人
	軽費老人ホームの利用者数		（ ）人
問73	ケアプランを作成する際に、不足していると思う介護サービスはありますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	訪問介護
		2	訪問入浴介護
		3	訪問看護
		4	訪問リハビリテーション
		5	居宅療養管理指導
		6	通所介護
		7	通所リハビリテーション
		8	短期入所生活介護
		9	短期入所療養介護
		10	特定施設入居者生活介護
		11	福祉用具貸与
		12	特定福祉用具販売
		13	介護老人福祉施設
		14	介護老人保健施設
		15	介護医療院
		16	その他（具体的に ）
		17	特にない
問74	ケアプランを作成する際に不足していると思う地域密着型サービスはありますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
		2	夜間対応型訪問介護
		3	地域密着型通所介護
		4	認知症対応型通所介護
		5	小規模多機能型居宅介護
		6	看護小規模多機能型居宅介護
		7	認知症対応型共同生活介護
		8	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
		9	地域密着型特定施設入居者生活介護
		10	特にない
問75	貴事業所の利用者に夜間対応型訪問介護が必要な方、または利用を希望する方はいますか。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	いる
		2	いない
		3	わからない
問76	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の更なる普及に向けた課題は何だと思いますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	利用者がサービスの内容や利用方法を知らない
		2	ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない
		3	ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない
		4	他のサービスの組合せで対応が可能である
		5	単位数が高く、他のサービスとの兼ね合いで使いにくい
		6	事業所が少ない
		7	その他（具体的に ）
問77	小規模多機能型居宅介護の更なる普及に向けた課題は何だと思いますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	利用者がサービスの内容や利用方法を知らない
		2	ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない
		3	ケアマネジャーが変わることを利用者が好まない
		4	ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない
		5	他のサービスの組合せで対応が可能である
		6	単位数が高く、他のサービスとの兼ね合いで使いにくい
		7	事業所が少ない
		8	その他（具体的に ）
問78	利用者が希望する介護サービスを提供できない場合、どのように対応していますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	提供できない理由を説明し、理解を求める
		2	他のサービスで補う
		3	介護保険対象外のサービス利用を勧める
		4	他区の施設やサービス利用を勧める
		5	家族に現状を説明し、できる限り介護をお願いする
		6	そのままにしている
		7	その他（具体的に ）
問79	要介護者が在宅生活を続けていくには、どのような支援が最も必要だと思いますか。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	医療機関と介護事業所の連携強化
		2	家族介護者の身体的・精神的負担の軽減
		3	在宅医療・訪問看護の充実
		4	現在のサービス提供限度額の拡大
		5	生活支援サービスの充実
		6	認知症への理解や地域における見守り機能の強化
		7	自治体等の相談機能の充実
		8	その他（具体的に ）

問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
問80	ケアマネジャー業務を行うにあたって、課題と考えていることは何ですか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	介護保険サービスが不足している
		2	介護保険以外の生活支援サービスが少ない
		3	サービス事業者に関する情報が少ない（得にくい）
		4	利用者に介護保険制度が十分理解されていない、理解いただくのが困難
		5	利用者や家族がサービスの必要性を理解していない
		6	忙しくて、利用者や家族の意見・要望を十分聞いてケアプランを調整する時間が十分取れない
		7	ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごとが多い
		8	夜間や休日の相談対応が多い
		9	支援困難事例のケアマネジメントの方法が分からない
		10	認知症に対するケアマネジメントの方法が分からない
		11	サービス事業所との連携がうまく取れない
		12	障がいや児童など他分野職種との連携がうまく取れない
		13	医療機関との連携がうまく取れない
		14	おとしより相談センター（地域包括支援センター）との連携がうまく取れない
		15	分からないことや困ったことがあったときに相談する人が身近にいない
		16	記録などの書類作成に多くの時間がかかる
		17	介護保険サービスを含まない生活支援サービス等だけのケアプラン作成が報酬に反映されない
		18	所属事業所の関連事業者からのサービスに偏る
		19	その他（具体的に）
問81	ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思うことは何ですか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	経験年数やテーマ別の研修
		2	事業所でのOJT（職場内研修）
		3	チームワークの向上
		4	ベテランケアマネジャーによる指導
		5	事例を使った検討会
		6	第三者によるケアプラン点検
		7	個人の意識の向上
		8	主任ケアマネジャーの質の向上
		9	地域包括支援センターや医療機関との連携
		10	職場環境・忙しさの緩和
		11	その他（具体的に）
11	選択設問 2 【居宅型サービス事業所】		
問82	貴事業所において、特に人材確保が難しい職種・有資格者は次のうちどれですか。（あてはまるもの3つまで口にチェックをつける）	1	サービス提供責任者
		2	介護支援専門員
		3	ホームヘルパー
		4	介護職（ヘルパー、介護福祉士以外）
		5	保健師
		6	看護師・准看護師
		7	医師
		8	社会福祉士
		9	介護福祉士
		10	理学療法士
		11	作業療法士
		12	栄養士
		13	事務職員
		14	相談員
		15	その他（具体的に）
問83	貴事業所の利用申込者の受け入れ状況についてお尋ねします。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	余裕がある
		2	曜日や時間帯により、対応できないことがある
		3	あまり余裕がない
		4	余裕がない（利用を断っている）
		5	その他（具体的に）
■	ここからは地域密着型サービス事業所の方にお伺いします。		
●	【すべての地域密着型サービス事業所がご回答ください】		
問84	板橋区にお住いの利用者はどこに住んでいる方が多いですか。（最も多いもの1つの口にチェックをつける）日常生活圏域についてはP. Oをご覧ください。	1	貴事業所のある日常生活圏域
		2	1に隣接する日常生活圏域
		3	1・2以外の日常生活圏域
●	【定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者のみご回答ください】		
問85	定期巡回・随時対応型訪問介護看護の更なる普及に向けた課題は何だと思えますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	利用者がサービスの内容や利用方法を知らない
		2	ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない
		3	ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない
		4	他のサービスの組合せで対応が可能である
		5	単位数が高く、他のサービスとの兼ね合いで使いにくい
		6	事業所が少ない
		7	その他（具体的に）
●	【小規模多機能型居宅介護事業所のみご回答ください】		
問86	小規模多機能型居宅介護の更なる普及に向けた課題は何だと思えますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	利用者がサービスの内容や利用方法を知らない
		2	ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない
		3	ケアマネジャーが変わることを利用者、居宅介護支援事業所が望まない
		4	ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない
		5	他のサービスの組合せで対応が可能である
		6	単位数が高く、他のサービスとの兼ね合いで使いにくい
		7	事業所が少ない
		8	その他（具体的に）
●	【すべての地域密着型サービス事業所がご回答ください】		
問87	貴事業所が行うサービスに新規参入する場合、どのような支援があるといいと思えますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	人材確保のための支援
		2	整備費補助金等の増額
		3	介護報酬の独自設定
		4	指定基準の緩和
		5	国・都・区有地の活用
		6	公募や指定申請の手続き等の簡素化
		7	利用者ニーズに関する情報
		8	特にない
		9	その他（具体的に）

問番号	質問	選択肢番号	選択肢項目
●	【すべての地域密着型サービス事業所にご回答ください】		
問88	競合しているサービスはありますか。（ひとつだけ口にチェックをつける）	1	ある（具体的に ）
		2	ない
		3	わからない
●	【認知症対応型通所介護事業所のみご回答ください】		
問89	近年利用者数の減少が続いていますが、課題は何だと思えますか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	利用者がサービスの内容や通所介護（地域密着型を含む）との違いを知らない
		2	ケアマネジャーがサービスの内容や通所介護（地域密着型を含む）との違いを知らない
		3	認知症に対する利用者やその家族の理解
		4	通所介護（地域密着型を含む）で対応ができる
		5	利用者やケアマネジャーにサービスの内容や事業所の特色がうまく伝わらない
		6	人材の確保
		7	単位数が多い
		8	事業所が少ない
		9	ニーズがない
		10	その他（具体的に ）
II	選択設問 3 【入所・入居型事業所】		
問90	貴事業所において、特に人材確保が難しい職種・有資格者は次のうちどれですか。（あてはまるもの3つまで口にチェックをつける）	1	サービス提供責任者
		2	介護支援専門員
		3	ホームヘルパー
		4	介護職（ヘルパー、介護福祉士以外）
		5	保健師
		6	看護師・准看護師
		7	医師
		8	社会福祉士
		9	介護福祉士
		10	理学療法士
		11	作業療法士
		12	栄養士
		13	事務職員
		14	相談員
		15	その他（具体的に ）
問91	令和7年11月1日時点の入所（居）者の平均年齢をお知らせください。		平均（ ）歳
問92	施設の稼働率はどの程度ですか。	1	100%
		2	90%以上100%未満
		3	80%以上90%未満
		4	70%以上80%未満
		5	60%以上70%未満
		6	50%以上60%未満
		7	50%未満
問93	（問91で「1」以外の口にチェックを付けた方にお尋ねします。）空床が生じる主な理由は何ですか。（あてはまるものすべての口にチェックをつける）	1	地域内の介護施設の供給過剰
		2	利用者の経済的負担による利用控え
		3	施設の立地条件
		4	施設の設備・環境に対する不満
		5	職員の人員不足による受入制限
		6	認知症など特定の症状を持つ利用者の受入制限
		7	入退所の手続きや調整に時間がかかる
		8	在宅サービスのニーズの高まり
		9	その他（ ）